



## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月9日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス

上場取引所 東

コード番号 8016

URL <https://www.onward-hd.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 保元 道宣

問合せ先責任者(役職名) 取締役 財務・経理・IR担当

(氏名) 吉田 昌平 (TEL) 03(4512)1030

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	63,466	5.5	5,647	5.5	5,621	7.8	5,043	18.1
2026年2月期第1四半期	60,158	17.1	5,353	5.5	5,217	0.4	4,271	6.3

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 3,025百万円(△17.2%) 2026年2月期第1四半期 3,654百万円(△53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	37.08	37.07
2026年2月期第1四半期	31.47	31.44

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2027年2月期第1四半期 7,032百万円(5.3%) 2026年2月期第1四半期 6,678百万円(6.9%)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	186,509	94,437	50.6
2026年2月期	189,223	93,588	49.4

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 94,415百万円 2026年2月期 93,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,500	4.3	6,400	11.6	6,200	12.3	5,600	16.1	41.17
通期	247,000	4.3	12,800	10.3	12,300	10.0	11,200	10.9	82.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2027年2月期通期(予想) 18,800百万円(9.3%) 2026年2月期通期 17,195百万円(11.3%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1 社 (社名) 株式会社コスメ・デ・ボーテ、除外 1 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年2月期1Q	141,921,669株	2026年2月期	141,921,669株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年2月期1Q	5,906,686株	2026年2月期	5,906,571株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年2月期1Q	136,015,008株	2026年2月期1Q	135,745,738株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかに回復しているものの、中東情勢や米国の通商政策が金融資本市場や企業活動等に影響を及ぼしており、経済環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中、当社グループは、戦略強化ブランドを中心に実施したプロモーション施策等が奏功し、売上高の拡大につながりました。一方で、夏物衣料の早期投入や在庫水準の適正化を戦略的に進めたこと等により売上総利益率は低下しましたが、店舗運営の効率化の徹底等を進めたことにより、販管費率が低下し、全段階利益において増益となりました。

以上の結果、連結売上高は634億66百万円（前年同期比5.5%増）、連結営業利益は56億47百万円（前年同期比5.5%増）、連結経常利益は56億21百万円（前年同期比7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億43百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

なお、当社グループでは、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大による成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的とし、EBITDA（営業利益＋減価償却費およびのれん償却費）を重要な経営指標としています。

当第1四半期連結累計期間のEBITDAは70億32百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### [国内事業]

中核事業会社の株式会社オンワード樫山をはじめ、株式会社オンワードパーソナルスタイルや株式会社チャコットが好調に推移し、増収となりました。ブランド別では『アンフィエロ』、『カシヤマ』、『チャコット・コスメティクス』、『WEGO』等の戦略強化ブランドがデジタルマーケティングやプロモーションの強化等によって、好調に推移しました。

以上の結果、国内事業の業績は増収増益となりました。

#### [海外事業]

ヨーロッパ地域は、英国ロンドン発祥のコンテンポラリーデザイナーズブランドであるJOSEPH事業がEコマース売上の伸長等により、増収、利益改善となりました。

アメリカ地域は、トラディショナルブランドであるJ.PRESS事業の店舗・Eコマース売上高が共に伸長し、増収増益となりました。

アジア地域は、オーダースーツの生産受注増加に伴い大連工場の稼働率が向上し、売上高が拡大しました。

以上の結果、海外事業の業績は増収、利益改善をしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億14百万円減少し、1,865億9百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が22億82百万円、その他の流動資産が20億71百万円、のれんが25億26百万円増加し、現金及び預金が71億65百万円、投資有価証券が32億44百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ35億63百万円減少し、920億71百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億46百万円、未払法人税等が17億33百万円、電子記録債務が13億45百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億49百万円増加し、944億37百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加50億43百万円、剰余金の配当による減少21億76百万円、その他有価証券評価差額金の減少20億40百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は50.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の中間連結会計期間および通期の連結業績予想につきましては、2026年4月9日公表の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,715	12,549
受取手形、売掛金及び契約資産	18,756	21,038
商品及び製品	44,825	44,737
仕掛品	580	530
原材料及び貯蔵品	4,305	4,356
その他	4,601	6,673
貸倒引当金	△258	△264
流動資産合計	92,525	89,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,683	19,000
土地	18,910	18,914
その他（純額）	5,824	5,925
有形固定資産合計	43,418	43,840
無形固定資産		
のれん	4,818	7,344
その他	6,763	6,778
無形固定資産合計	11,581	14,122
投資その他の資産		
投資有価証券	13,446	10,202
退職給付に係る資産	15,107	15,223
繰延税金資産	2,717	2,693
その他	10,519	10,896
貸倒引当金	△92	△90
投資その他の資産合計	41,698	38,924
固定資産合計	96,698	96,887
資産合計	189,223	186,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,385	10,738
電子記録債務	7,170	5,824
短期借入金	31,082	31,362
未払法人税等	3,379	1,645
賞与引当金	1,091	1,507
役員賞与引当金	145	28
その他	14,405	13,920
流動負債合計	68,661	65,028
固定負債		
長期借入金	15,250	15,922
退職給付に係る負債	2,546	2,513
役員退職慰労引当金	22	23
資産除去債務	3,358	3,477
その他	5,796	5,106
固定負債合計	26,974	27,043
負債合計	95,635	92,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	37,390	37,390
利益剰余金	26,224	29,092
自己株式	△4,694	△4,694
株主資本合計	89,000	91,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,551	511
繰延ヘッジ損益	17	11
土地再評価差額金	△5,806	△5,806
為替換算調整勘定	1,690	1,887
退職給付に係る調整累計額	6,112	5,942
その他の包括利益累計額合計	4,565	2,547
新株予約権	21	21
純資産合計	93,588	94,437
負債純資産合計	189,223	186,509

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	60,158	63,466
売上原価	25,850	27,860
売上総利益	34,307	35,606
販売費及び一般管理費	28,954	29,959
営業利益	5,353	5,647
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	13	9
持分法による投資利益	3	11
為替差益	-	41
その他	123	149
営業外収益合計	146	216
営業外費用		
支払利息	127	141
為替差損	73	-
その他	82	100
営業外費用合計	282	242
経常利益	5,217	5,621
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,389
特別利益合計	-	1,389
特別損失		
減損損失	293	49
その他	15	1
特別損失合計	309	50
税金等調整前四半期純利益	4,907	6,960
法人税等合計	636	1,917
四半期純利益	4,271	5,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,271	5,043

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	4,271	5,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	△2,037
繰延ヘッジ損益	△62	△5
為替換算調整勘定	△336	196
退職給付に係る調整額	△30	△169
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△1
その他の包括利益合計	△617	△2,017
四半期包括利益	3,654	3,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,654	3,025

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	56,657	3,501	60,158	—	60,158
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	363	1,035	1,398	△1,398	—
計	57,020	4,536	61,557	△1,398	60,158
セグメント利益又は損失(△)	5,804	△353	5,451	△97	5,353

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△97百万円には、のれんの償却額△263百万円およびセグメント間取引消去1,085百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△919百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生および変動はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	59,510	3,955	63,466	—	63,466
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	293	1,220	1,513	△1,513	—
計	59,804	5,175	64,980	△1,513	63,466
セグメント利益又は損失(△)	6,134	△315	5,818	△171	5,647

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△171百万円には、のれんの償却額△329百万円およびセグメント間取引消去1,098百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△940百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社コスメ・デ・ボーテの全株式を取得し、連結子会社としました。これにより、のれんを2,848百万円計上しています。なお、のれんは金額は当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,060百万円	1,056百万円
のれん償却額	263百万円	329百万円